

令和 9 年度予算概算要求額 5,665百万円（前年度 1,896百万円）の内数

消費・安全対策交付金のうち

重要病害虫の特別防除等

<対策のポイント>

近年、発生地域が拡大しているクビアカツヤカミキリ等、農作物に重大な被害を及ぼす重要病害虫について、発生地域における防除対策を確実に講じます。

<事業目標>

我が国未発生又は一部に発生している病害虫の定着・まん延防止

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 重要病害虫の防除

生産地域に侵入し、まん延した場合に重大な被害が発生するおそれがある病害虫に対する調査防除等を支援します。

特に、対策の強化が必要であるクビアカツヤカミキリのまん延防止を図るため、まん延地域や侵入が懸念される未発生地域で実施する調査、防除、新たな防除体系の実証等を支援します。

2. 初動防除及び緊急防除の実施

緊急防除等の対象となりうるミカンコミバエ種群等の重要病害虫の侵入が確認された場合の初動防除や、ジャガイモシロシストセンチュウ等の重要病害虫の定着・まん延防止を図るため、植物防疫法に基づく緊急防除を実施します。

3. 移動規制病害虫の防除

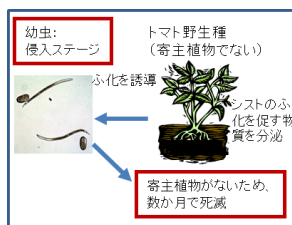
国内の一部地域で発生している、カンキツグリーニング病菌の被害の軽減や未発生地域へのまん延を防止するための防除及び根絶に向けた防除や、アリモドキゾウムシの防除の結果得られた無発生地域の維持のための防除体系の実証を支援します。

重要病害虫の防除の例
(クビアカツヤカミキリ)クビアカツヤカミキリ
の成虫と幼虫拡散防止のための
樹体へのネット巻き初動防除の例
(ミカンコミバエ種群)ミカンコミバエ種群
(成虫)

誘殺板の設置の様子

緊急防除の例

(ジャガイモシロシストセンチュウ及びセグロウリミバエ)



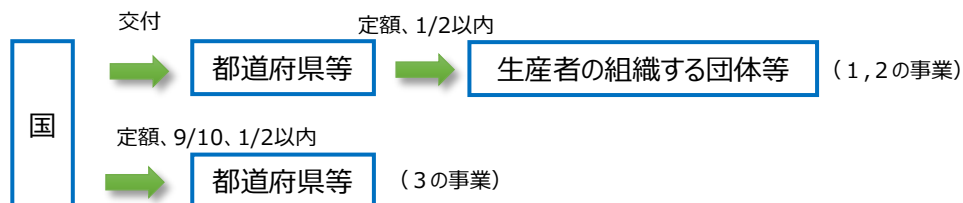
根絶防除及び防除体系の実証の例

(カンキツグリーニング病菌及びアリモドキゾウムシ)

対抗植物の植栽による防除 ヘチマに寄生した幼虫 カンキツグリーニング病菌の罹病樹（カンキツ）
(ジャガイモシロシストセンチュウ) (セグロウリミバエ) アリモドキゾウムシ（成虫）重要病害虫の侵入が確認された場合に迅速に防除対策等を実施し、
定着・まん延防止を徹底

【お問い合わせ先】 消費・安全局植物防疫課 (03-6744-9644)

<事業の流れ>



持続的生産強化対策事業のうち
果樹農業生産力増強総合対策

令和9年度予算概算要求額 6,128百万円（前年度 5,556百万円）

<対策のポイント>
国内外の需要に応えていない果樹の生産基盤を強化するため、**省力的な樹園地への改植・新植、新たな担い手の確保・定着等**の取組を支援するほか、**産地の構造転換に向けたモデル実証や気候変動への適応対策、苗木の供給力強化等**の取組を支援します。

<事業目標>
果実の生産量の拡大（245万t〔令和5年度〕→256万t〔令和12年度まで〕）

<事業の内容>

1. 省力的な樹園地への改植・新植等支援
省力樹形や優良品目・品種への改植・新植と、それに伴う未収益期間における幼木の管理に要する経費を支援します。また、**クビアカツヤカミキリの被害を受けた樹木の改植による樹園地の再生を支援します。**

2. 新たな担い手の確保・定着の促進支援
果樹産地における新たな担い手の確保・定着に向け、**果樹型トレーニングファーム（TF）の整備や、技術指導・管理等に要する経費を支援します。**

3. 苗木供給力の強化、国産花粉の安定生産・供給体制整備への支援
省力的な苗木生産体制の整備や、**契約に基づく苗木生産拡大に伴い必要となる安定生産技術の導入、国産花粉の安定生産・供給に向けた取組を支援します。**

4. 国産果実の流通加工への支援
未利用果実の活用に向けた**栽培実証、出荷・流通体制の構築、加工品の試作等**の取組や既存の加工・業務用産地の体制強化に向けた**経営分析、栽培様式・流通の改善、加工技術の改善・開発等**の取組を支援します。

5. 産地の構造転換に向けたモデル実証への支援
生産性を大幅に向上させる**生産供給体制モデル**や、高温等に対応した栽培体系への転換を図る**気候変動対応モデル**、苗木の需要動向に対応し、**安定的かつ効率的に苗木を生産・供給できる苗木生産供給体制モデル**を構築する取組を支援します。

<事業イメージ>

省力的な樹園地への改植・新植等

【改植（括弧内は新植）の支援単価の例】

品目	かんきつ	りんご
省力樹形栽培	111（108） 万円/10a （根域制限栽培）	73（71） 万円/10a （超高密植栽培）
慣行栽培	23（21） 万円/10a	17（15） 万円/10a
未収益期間対策（幼木管理経費）	22万円/10a（4年分）※ ※ クビアカツヤカミキリの被害を受けた樹木を他品目（非寄主植物）に転換する場合は、25万円/10a	

・遮光ネットや土壌被覆資材、細霧冷房等の高温障害発生低減に向けた技術的対策の導入を支援（補助率1/2以内）
・マメコバチ増殖の環境整備を支援（補助率1/2以内）

新たな担い手の確保・定着の促進

果樹型TF



・整備した園地で新規就農希望者の研修を行い、園地を研修終了後に継承

<支援内容>

- ・果樹型TFの整備（改植、小規模園地整備等）
- ・果樹型TFの管理（技術指導・管理等の経費）

産地の構造転換に向けたモデル実証

生産供給体制モデル実証

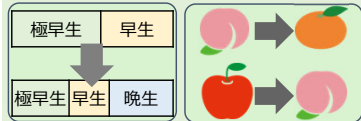
- ・ニーズに応じた作業合理化（日常使い品の省力的生産など）
- ・加工や業務用果実の生産 等



・生産性の大幅な向上

気候変動対応モデル実証

- ・品種構成の見直し
- ・品目の見直し 等



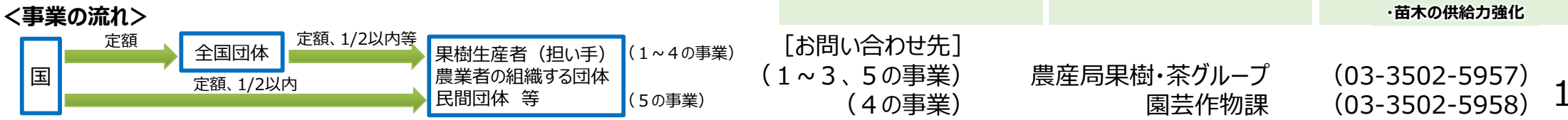
・栽培マニュアルの策定

苗木生産供給体制モデル実証

- ①苗木の需要動向調査
- ②地域全体の生産計画の策定
- ③産地による苗木の効率的生産 等



・苗木の供給力強化



<対策のポイント>

国の重要政策の推進や現場課題の解決に資する研究成果を創出し、社会実装を加速するため、**産学官が連携して取り組む基礎研究及び実用化研究を支援**します。また、**日本成長戦略に位置付けられた戦略分野における研究**や、**地域未来戦略の実現に資する研究**を支援します。

本事業は、一部の研究タイプを除き、研究コンソーシアム（共同事業体）が研究実施主体となります。

<事業目標>

研究成果の90%以上が、次のステージの研究や農林水産・食品産業の現場において普及・活用〔令和9年度まで〕

<事業の内容>

1. 基礎研究ステージ

① 基礎重要政策タイプ

みどりの食料システム戦略や輸出戦略など国が掲げる重要政策上の課題を解決するための技術シーズを創出する研究。

② チャレンジタイプ

新たなアプローチや発想に基づき、技術シーズの可能性を探索・検証する研究。

2. 開発（実用化）研究ステージ

① 開発重要政策タイプ

みどりの食料システム戦略や輸出戦略など国が掲げる重要政策上の課題を解決するための研究。

② 「知」の集積と活用場の優良提案支援タイプ

「知」の集積と活用場の研究開発プラットフォーム発の優れた技術シーズを基にした研究。

③ 戦略分野タイプ

日本成長戦略に位置付けられた戦略分野（「フードテック」以外の戦略分野を含む。）における研究。

④ 地域未来戦略タイプ

地域未来戦略（地域産業クラスター計画・地場産業成長プラン）の実現に資する研究。

<事業イメージ>

基礎研究ステージ

農林水産・食品分野での社会実装を目的とした革新的な技術シーズを創出する基礎段階の研究を支援。

基礎重要政策タイプ

・3,000万円以内/年 × 3年以内

チャレンジタイプ

・1,000万円以内/年 × 1年以内
・1機関での応募も可能

※ 優れた研究成果を創出した課題は、移行審査により、次のステージへ優先的に採択。（シームレスな研究開発を推進。）

開発（実用化）研究ステージ

基礎研究等で創出された成果を社会実装する実用化研究を支援。

開発重要政策タイプ

・3,000万円以内/年 × 5年以内

「知」の集積と活用場の
優良提案支援タイプ

・3,000万円以内/年 × 5年以内

戦略分野における研究や地域未来戦略の実現に資する研究を支援。

戦略分野タイプ

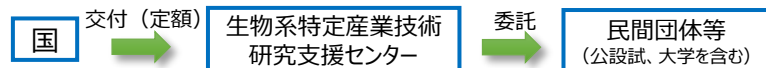
・5,000万円以内/年 × 5年以内
・マッチングファンド方式を要件化

地域未来戦略タイプ

・3,000万円以内/年 × 5年以内

社会実装

<事業の流れ>



- ※1 令和8年度まで設定していた研究タイプの見直しを実施。
 ※2 年度途中で緊急に研究の実施が必要とされる事由が生じた場合、「緊急対応課題研究」を実施。
 ※3 参画する民間企業がマッチングファンド方式を導入する場合には、1次審査時にポイント加算。
 ※4 若手研究者が研究代表者を務める場合には、1次審査時にポイント加算。

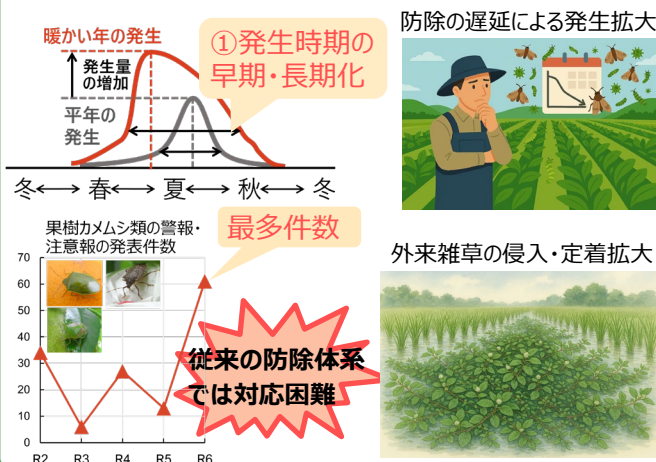
【お問い合わせ先】農林水産技術会議事務局研究推進課（03-6744-7044）

1（3） 近年急速に発生が拡大・激化している病害虫等に対応した省力的な防除技術の開発【新規】

- 温暖化等の気候変動により、病害虫の発生時期の早期化や発生量の増加が深刻化し、従来の防除体系では適切な時期での防除が困難になっている。また、侵略的外来雑草の侵入・定着リスクも高まっている。
- 農業従事者の急速な減少や高齢化、圃場の大規模化に伴い、病害虫・雑草の防除作業の負担が増大するとともに、複数の病害虫・雑草への適期・適時防除が困難となり、防除作業の効率化のため省力的な防除技術の開発が必要である。
- このため、新たな予測技術と連携したICT・AI等を用いた省力的防除技術を開発し、食料の安定供給と農業の持続的発展に貢献する。

現状と課題

- 果樹では、果樹カメムシ類の発生量と発生面積が急増し、延防除面積が過去最多、特定外来生物のクビアカツヤカミキリによる被害も激増
- 畑作・野菜では、ヨトウ類の発生が増加、べと病等の発生時期が1か月以上早期化し、長期化
- 特定外来生物のナガエツルノゲイトウが31都府県に発生拡大し、防除後に環境中に残存する植物片による再繁茂が課題
- 予測と連携した省力的な防除技術の開発が必要



必要な研究内容

1. 予測技術の開発

- 気候変動により、発生時期の早期・長期化している病害虫の3ヶ月先の発生予測技術の開発
精緻・高精度な発生予測システム
- 侵略的外来雑草の侵入・定着リスク評価技術の開発



2. まん延防止技術の開発

- 特定外来生物（クビアカツヤカミキリ等）の省力的・持続的な防除技術等の開発
- 発生長期化等に対応した病害虫防除技術の開発（ヨトウ類等）
- 予測技術と連携したドローン等のICT・AI等を活用した省力化防除技術の開発（べと病等）



社会実装の進め方と期待される効果

- 予測技術については、国および都道府県の発生予察事業に活用するほか、民間へ提供し、農業関連サービスとして、生産現場での活用を実現。
- 病害虫のまん延防止技術については、予測技術と併せ、農薬や機械メーカ等にSOP等を提供し、実用化を図る。また、都道府県における総合防除計画の策定に反映され、普及組織による適切な総合防除の実施に貢献。

予測に基づく適切な病害虫管理技術を構築し、気候変動による農業生産への影響を回避し、食料の安定供給及び農業の持続的発展に貢献



<対策のポイント>

「森の国・木の街」の実現に向けて、林業の生産基盤である路網の整備、再造林の省力・低コスト化、先進的な林業機械の導入等を支援するとともに、集積・集約化、木材需要の拡大や木材産業の基盤強化に資する木造公共建築物、木材加工流通施設等の整備、優良種苗生産、広葉樹活用等の取組を支援します。

<事業の内容>

1. 森林集約・循環利用対策交付金

循環型林業の推進に向け、路網整備、再造林の省力・低コスト化等の取組を一体的に支援するとともに、森林の集積・集約化に資する地域活動や先進的な林業機械等の導入、林業経営体の新規参入等を支援します。また、木材需要の拡大及び木材産業の基盤強化に資する、木造公共建築物、木材加工流通施設等の整備等を支援します。その際、都道府県が策定する森の国・木の街創造連携計画に基づく先進的な取組等について、優先枠の設定等により重点的に支援します。

2. 優良種苗生産推進対策

種穂の採取源の充実を図るとともにコンテナ苗の生産技術・生産性の向上等の取組を支援します。

3. 森林の集積・集約化促進対策

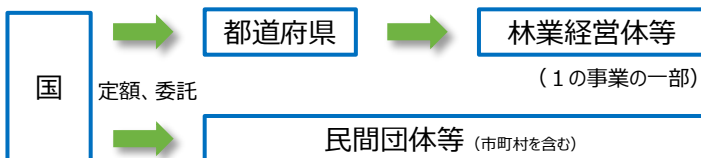
森林の集積・集約化を促進するため、ノウハウの整理・分析や成果の発信、伴走支援等を実施します。

4. 広葉樹利活用対策

国産広葉樹資源の付加価値の高い形での供給拡大に向け、広葉樹材の利活用促進に資する技術やノウハウについて情報収集・情報発信等を実施します。

<事業の流れ>

定額（1/2、1/3以内等）等



※国有林においては、直轄で実施

<事業イメージ>

森林集約・循環利用対策交付金

- 循環型資源基盤整備強化対策（路網整備・機能強化等、省力・低コスト再造林対策、コンテナ苗生産基盤施設等の整備）
- 木材需要拡大・木材産業基盤強化対策（木材加工流通施設等の整備、木質バイオマス利用促進施設の整備、特用林産振興施設等の整備、木造公共建築物等の整備）
- 先進的な林業機械等の導入
- 森林集積・集約地域活動支援対策
- 森林資源保全対策（森林病虫獣害対策、林野火災予防対策）
- 林業の多様な経営体の確保・育成

優良種苗生産推進対策

- 種穂の採取源の充実、コンテナ苗の生産技術・生産性の向上等

森林の集積・集約化促進対策

- 森林の集積・集約化の取組に対する伴走支援や成果の発信を実施

広葉樹利活用対策

- 広葉樹材の需要調査やそれに応じた供給手法の整理など、国産広葉樹の利活用促進に向けた情報収集・情報発信等を実施



【お問い合わせ先】

林野庁計画課

(03-6744-2082)

健全な森林の造成を推進するため、地域の実情に応じて都道府県や市町村等が実施する、森林病虫害や野生鳥獣による被害防除、林野火災予防等を支援します。

1. 森林資源保護の推進

(1) 森林病虫害等防除
スギ・ヒノキ病虫害や突発性森林病虫害の防除等
【実施主体】 都道府県、市町村等

(2) 森林健全化促進
ナラ等の大径末被害木の伐採、抵抗性マツの植栽等
【実施主体】 都道府県、市町村等

(3) 森林病虫害等防除活動支援体制整備促進
防除活動推進のための資機材の整備等
【実施主体】 都道府県、市町村等

(4) 松林保全体制整備強化
被害先端地周辺のマツノマダラカミキリ生息調査等
【実施主体】 都道府県、市町村等

(5) 野生鳥獣被害防除
・野生鳥獣による被害を防止するための防護資材、捕獲用わなの設置
・長期の行動把握調査や森林被害マップの作成
【実施主体】 都道府県、市町村、森林組合等



ミズナラの萌芽
(森林健全化促進：ナラ等の大径末被害木の伐採)



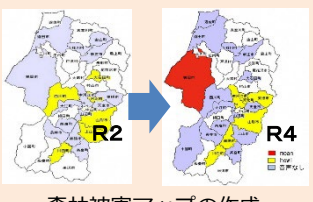
移動式チッパー
(森林病虫害等防除活動支援体制整備促進：資器材の整備)



はく皮防止資材



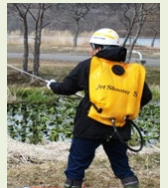
捕獲用の囲いわな



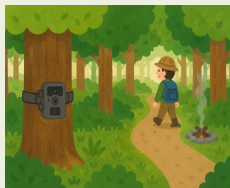
森林被害マップの作成

2. 森林環境保全の推進

林野火災予防対策
消火資機材の配備、予防資機材の配備、
林野火災森林情報マップの整備、
火災予防活動等
【実施主体】 都道府県、市町村



消火資機材の配備



予防資機材の配備



林野火災森林情報マップの整備



山火事予防の普及啓発活動